

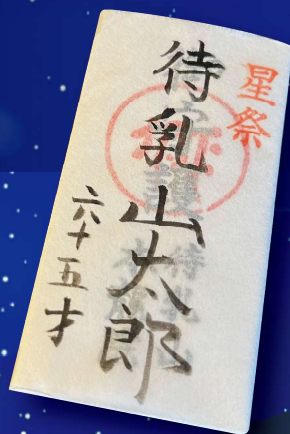
星まつり

ほしまつり

冬至の日に来年の除災延命の御祈願を致します。
一人一人にお守りをお授け致しますので
ご家族でお申し込みください。

【寺務所にて受付中】

講金 2000円 (一体追加毎 500円)



12/8
金曜日

9時頃~14時

おまえだちじゅういちめんかんぜおんぼさつかいひ
【御前立十一面観世音菩薩御開扉】

当山秘仏である御前立十一面観音菩薩様を内陣で参拝できます。
間近でお参りできる貴重な機会ですので是非お参り下さい。

朝まいり会

12月1日~7日 午前8時~8時半 会費:500円也

毎日参加されなくても1週間のうちで、ご都合のよろしい日にご参加ください。継続されている方は表彰され記念品が授与されます。

写経の会

12月10日(日) 午前10時・午後1時 会費:500円也

お経を一字一文字丁寧に写すことにより仏様の功德をいただけます。

合同大般若法要

12月25日(月) 午前11時 法要料:5000円也

諸願成就の御礼として、皆様と一緒に上げる法要です。

本堂煤払い

12月7日(木) 正午より

毎年恒例の煤払いを行います。午前中で閉堂致しますのでお参りは午前中にお済ませください。

坐禅の会 12月は中止いたします

次の開催は年明け1月27日です。

ライブ配信のご案内(配信QRコード)

御縁日法要・合同大般若法要のライブ配信を行っています。



「十一面」

本堂部長 関口真允



当山には山門東側に出世観音様がお祀りされています。また大広間と洗心閣、なにより本堂には内々陣に絶対秘仏である尊天様のお前立の十一面観音菩薩様がお祀りされております。12月8日にこのお前立の十一面観音様の『御開扉』がございますので、今回は十一面観音様についてお話しします。

十一面観音様はその御名のごとく、頭上を取り囲む11の面(顔)をお持ちです。正面にある3つの面は慈悲を表す穏やかな佇まいの『菩薩面』、左側の3面は憤怒の表情の『瞋怒面』、右側の3つは励まし等を表す讃嘆の表情の『狗牙上出面』、裏に怒りが極まり笑顔になる『大笑面』が1面のみあります。

これらは、我々が普段より抱く色々な感情を表情として表しています。

我々の周りで起こる事象には、一方的な考えや見方だけでは、分からないことが多くあります。正面から見るだけではなく裏面、側面などを見なければならぬ時もあるでしょう。十一面観音様のように色々な方向から見れば見る角度により、景色や考えが変わることもあるでしょう。例えば、揉め事や争い事が起こった時はまず怒りが沸いてきます。しかし観音様のようにまわりをよく見て、相手の立場となりその意見を聞けば、ある時には讃嘆したり、あるいはお互いに誤解が解けて笑いが起こるなど様々な方向に向かうこともあるかと思います。結果として最後は一周回って、正面の慈悲の心に戻ってくればよいと思います。十一面様のお顔を拝する際には、慈悲の心こそ、人生を歩む上でもっとも大切であることを思いながらお参りしてください。

そして信仰においては、神仏に対し素直な気持ちで『正面』から向き合っただけ一心に手を合わせてください。無心でお参りすれば、それだけで様々な御利益を皆様にお授けくださることでしょう。

1年に一度、『御開扉』は、お前立の御扉を開け、直接十一面様を拝することができます。ご信徒の皆様と、よりご縁を深める1日となります。どうぞお越しくださいませ。



「竜神さま」



「雨男は竜神さまに好かれているから運良くなる」迷信好きの祖母からこんな風に言われたことがあります。私は幼い時から筋金入りの雨男で運動会も修学旅行も楽しい思い出は大抵が雨でした。そのため竜神と聞いても特段有難い存在には感じていませんでした。ですが今この金竜山本龍院という龍神伝説の残るお寺で働かせて頂いて竜神という存在が多くの方が縁起がいいもので、良くも悪くも自分には竜神様と御縁があるのだと感じています。

そこで今回は仏教における竜神とはどのような存在なのかを書こうと思います。

竜神とは、想像上の生き物でありながら世界中どこにでも伝説が残されている「竜」を信仰の対象とした神様です。自然の姿や力に度々たとえられます。中でも水にまつわる伝説が多く語られており、日本では古来より雨を降らせる時には自然災害を起こす神様として信じられています。仏教においても釈迦さまが生誕した際に二匹の竜が清浄水を灌ぎ、成道時に七日間雨を降らせて釈迦の身を覆って守護したと伝えられます。

竜は仏教經典である法華経も記されておりの序品には法華経を護る八人の竜王が登場します。八大龍王は雨乞いの神としても信仰されていて、水にまつわる神様として各地の寺社に祀られています。浅草寺にもこの竜神は祀られていて手水舎の龍神像は八大龍王の一人沙竭羅(しゃから)龍王像です。

竜の外見は概ね世界共通で爬虫類に似た姿をしており、西洋では翼の生えたトカゲ、東洋は鬚と手足が生えたヘビの姿で描かれています。日本の仏教でも竜といえば東洋の竜の姿が一般的ですが本来仏教の始まりインドでは天候を操る「ナーガ」という蛇の神が仏様を守護したとされます。そしてインドから中国へ伝来した際に竜と漢訳され、中国古来の水を制御する強力な縁起のいい力の象徴「龍」と同一視されるようになり中国風の竜のイメージに変化したと考えられます。

このように本来天候を司る神と力の象徴である龍が同一視されることにより雨男は竜神様に好かれていて縁起がいいといわれるようになったのでしょう。現代では天候は雨雲の動きなどからで予測できるようになり科学の発展により水不足や水害への対策を講じられるようになってきました。それでもすべてを制御できるわけではありません。その自然の大きな力を司る竜神様に畏敬の念込めて待乳山の竜神さまにお参りしたいものです。



おみくじ小屋が完成いたしました

10月初頭より解体新築中でした参道のおみくじ小屋が完成いたしました。以前より間口が大きくなり二人ずつおみくじが引けるようになりました。是非ご利用ください。

令和六年正月行事案内

正月特別祈禱 祈祷料：3000円

新年の開運をお祈りいたします。

以下の計10座執り行います。

元日 13時、13時30分、14時、15時

二日 13時、14時、15時

三日 13時、14時、15時

内陣でのご参列は各座定員を30名までといたします。

ご祈祷後、開運のお守りを授与いたします。



正月供物受付中

本堂をはじめ、境内各末社に御供え餅やお神酒などをお供えいたします。寺務所にて受付しております。

毘沙門天の特別拝観

日時：年明け20日頃まで

浅草名所七福神の内の一尊でもある毘沙門天様は普段は内々陣のご本尊様の隣にお祀りしておりますが、正月の期間はお参りしやすいように特別に内陣にお祀りしております。この機会に是非ご拝観ください。



お屠蘇接待

三が日の11時から15時の間、本堂において信徒総代、世話人より開運のお屠蘇とお子様にはお菓子をお配りしております。お参りがお済みになりましたら是非お召し上がりください。



ご祈祷のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈祷期間をお伝え下さい。

またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈祷料

別座祈禱 壹万二千元(一週間)

浴油祈禱 四千元(一週間)

華水供 六百元(一日)

法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。

百味供養 法要料 八万円

沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声

◀ ご報告 ▶

歓喜講特別講演

10月15日歓喜講大般若法要を執行いたしました。法要後今回の特別講演として待乳山親方をお迎えし、襲名されたいきさつや相撲協会の慣わしなどのお話を大広間にいただきました。講演の終わりに設けた質問コーナーでは様々な質問がされ、待乳山親方からも九月場所の大入り袋が配られるなど大いに盛り上がりを見せました。



お月見の会

お月見の会が10月29日に行われました。当院洗心閣屋上にて月待法要を執り行い、広間にて催し物がされました。法要の様子はyoutube公式チャンネルにて配信しておりますので是非ご覧ください。※youtubeチャンネルは当院ホームページトップにリンクがございます。



七五三(10月度)

ご宝前にて行者より無病息災を祈念し、お加持を授かりました。健やかなご成長をお祈り申し上げます。



10/24狩俣波音さん(4歳)

明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。

大般若法要 法要料 五万円

所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。

自動車加持 法要料 壹万円

当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

